

2020年6月9日

経済産業大臣 梶山弘志 様

さようなら原発 1000 万人アクション 03-6821-3211
千代田区神田駿河台 3-2-11 联合会館 1 階原水禁気付
電話 03-5289-8224
原子力資料情報室
中野区中央 2-48-4 小倉ビル 1 階
電話 03-6821-3211

核燃料サイクルをめぐる質問

日々の国政に対する真摯な取り組みに敬意を表します。

さて、5月13日、日本原燃の六ヶ所再処理工場に対して原子力規制委員会は、審査書案をまとめ事実上の「合格」を与えました。六ヶ所再処理工場は、1993年の着工以来、これまで相次ぐトラブルや設計ミスなどで完工が24回も延期されいまだ完成していません。現在は、2021年上期の完工予定とされていますが、今回の「合格」後も、詳細設計の審査や安全対策の工事が残っており、現状では無理ではないかと考えられます。

いま、立ち止まって核燃料サイクル政策そのものの是非を真剣に議論しなければならないと考えます。ついては、下記にサイクル政策を巡り疑問がありますので、質問します。

記

1. 巨額の費用がかかる核燃料サイクル政策に国民的な合意が必要とあると考えますか。どのように国民的理解をはかろうとしますか。あわせて第3者委員会による再検討並びに私たちとの公開討論会の開催等をすべきだと考えますが、いかがでしょうか。
2. 高速炉開発の見通しはどのように考えていますか。どのようなスケジュールとなるでしょうか。
3. 電気事業連合会は16～18基の原発でプルサーマルを実施する計画をいまなお掲げていますが、経済産業省としてこの達成をどのようにはかろうと考えますか。
4. 回収ウランの利用計画具体的に明らかにしてください。また、計画がたたない場合にはどのように対処するのでしょうか。
5. すでに青森に貯蔵されている高レベル放射性廃棄物は確実に期間内に青森から搬出することができますか。できない場合にはどのように対処されますか？
6. 使用済みMOX燃料を再処理することが方針として掲げられていますが、その具体的な計画を教えてください。特に第二再処理工場や廃棄物の取り扱いや実施主体、スケ

ジュールなどはどのようになりますか。

7. プルトニウム保有量を現状より増やさないとする方針と理解していますが、減らない場合は六ヶ所再処理工場の運転は行なわないと理解して良いですか。
8. 建設費や事業費に巨額な資金がかかりますが、将来に、現時点の想定以上にかかる場合の費用について、国民の負担となることはありませんか。
9. 六ヶ所再処理工場の稼働期間は具体的に明示されていませんが、どの程度と認識していますか。